

広 報 資 料

(市政 , 経済同時)

平成 16 年 7 月 14 日
京 都 市 産 業 観 光 局
(担当 : 商工部経済企画課 222-3334)
(財) 京都市中小企業支援センター
(担当 : 経営支援部企業おうえん係 211-9311)

中小企業の景況について (第 71 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業 の経営実態 , 経営動向などを把握するため , 四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の結果がまとまりましたので , お知らせします。

1 景気動向調査結果の概要

着実に進む景気回復傾向

今期 (平成 16 年 4 月 ~ 6 月期) の全業種の主要 3 指標 D I (企業景気 D I , 生産・販売量 D I , 経常利益 D I) は , 揃って改善傾向を示した。中でも企業景気 D I は , 第 67 回 (平成 15 年 4 月 ~ 6 月期) から 5 期連続して上昇した。5 期連続の上昇は第 6 回調査 (昭和 62 年 12 月 ~ 63 年 3 月期) 以来 16 年ぶりである。特に , 製造業は D I が第 18 回調査 (平成 3 年 1 月 ~ 3 月期) 以来のプラス水準まであと一歩というところまで回復した。

来期 (平成 16 年 7 月 ~ 9 月期) は生産・販売量はやや下降するものの , 企業景気および経常利益が若干上昇すると予測している。

< 今期実績 平成 16 年 4 月 ~ 6 月期 >

今期 (平成 16 年 4 月 ~ 6 月期) の全業種の主要 3 指標 D I は , 企業景気 D I が 4.8 ポイント , 生産・販売量 D I が 4.1 ポイント , 経常利益 D I が 5.6 ポイント上昇し , 揃って改善を示した。

	企業景気 D I	生産・販売量 D I	経常利益 D I
全 業 種	- 15.9 (4.8)	- 16.0 (4.1)	- 21.3 (5.6)
製 造 業	- 1.7 (5.0)	- 1.2 (4.6)	- 9.6 (5.6)
非 製 造 業	- 29.7 (5.4)	- 31.9 (4.5)	- 32.5 (6.5)

3 指標 D I が上昇した主な要因は , 機械の液晶・半導体製造装置 , 化学機械 , 工作機械が内需 , 外需とも好調で , さらに電子部品等の I T 関連業種も活況を呈したことが大きいと考えられる。又 , 印刷で販促用のチラシやパンフレット , カタログ等の需要が回復したことや窯業の理化学ガラス器具 , 一部陶磁器が好調であったことも作用し , さらに観光関連の飲食店・宿泊業が改善したことも回復の一助になった。

主要3指標D Iがいずれも上昇した業種は7業種、いずれも下降した業種は2業種である。

3指標上昇業種	企業景気D I	生産・販売量D I	経常利益D I
西 陣	- 21.4 (6.2)	- 17.8 (9.8)	- 17.9 (9.7)
印 刷	- 21.4 (34.2)	- 21.4 (19.4)	- 39.3 (8.9)
窯 業	- 28.0 (22.0)	- 24.0 (26.0)	- 40.0 (26.6)
機 械	31.6 (3.5)	44.7 (16.6)	28.9 (16.4)
卸 売 業	- 18.1 (13.6)	- 21.9 (8.9)	- 11.4 (22.7)
小 売 業	- 50.0 (5.3)	- 47.8 (10.1)	- 52.9 (3.2)
飲食店・宿泊業	- 25.0 (16.7)	- 25.0 (22.1)	- 25.0 (20.7)
3指標下降業種	企業景気D I	生産・販売量D I	経常利益D I
その他の製造業	- 23.8 (15.5)	- 30.9 (22.6)	- 31.7 (23.4)
情報通信業	- 5.0 (0.5)	- 10.0 (19.5)	- 20.0 (24.8)

<来期予測 平成16年7月~9月期>

来期(平成16年7月~9月期)の全業種の主要3指標D Iは、企業景気D Iが0.6ポイント、経常利益D Iが0.9ポイント上昇し、生産・販売量D Iが1.0ポイント下降すると予測している。又、今期3指標下降業種のうち、情報通信業は来期は3指標とも上昇と予測しているものの、今期3指標上昇企業の中で西陣、印刷、飲食店・宿泊業は3指標が下降と予測しており、業種によりばらつきがみられる。上昇を予測する企業は非製造業が目立ち、これまで製造業が中心であった景気回復が非製造業にも広がってきたと考えられる。

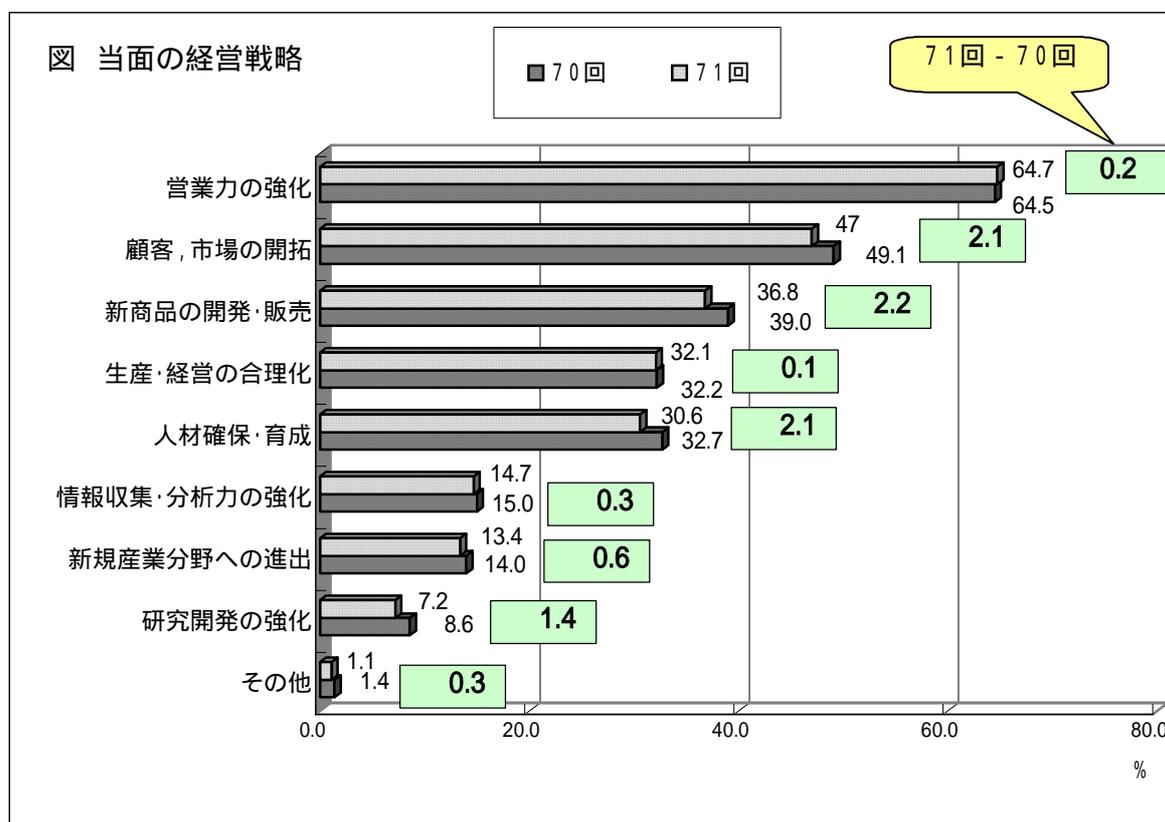
	企業景気D I	生産・販売量D I	経常利益D I
全 業 種	- 15.3 (0.6)	- 17.0 (1.0)	- 20.4 (0.9)
製 造 業	- 9.3 (7.6)	- 10.6 (9.4)	- 15.3 (5.7)
非 製 造 業	- 29.7 (5.4)	- 23.9 (8.0)	- 25.4 (7.1)

主要3指標D Iがいずれも上昇と予測している業種は4業種、いずれも下降すると予測している業種は5業種であった。

3指標上昇業種	企業景気D I	生産・販売量D I	経常利益D I
卸 売 業	- 15.9 (2.2)	- 19.1 (2.8)	- 9.1 (2.3)
小 売 業	- 30.4 (19.6)	- 34.4 (13.4)	- 39.7 (13.2)
情報通信業	15.0 (20.0)	5.0 (15.0)	0.0 (20.0)
サービス業	- 10.9 (6.1)	- 16.2 (5.4)	- 6.8 (14.9)
3指標下降業種	企業景気D I	生産・販売量D I	経常利益D I
西 陣	- 25.0 (3.6)	- 32.2 (14.4)	- 28.6 (10.7)
染 色	- 24.2 (13.9)	- 24.2 (13.8)	- 20.7 (3.5)
印 刷	- 46.4 (25.0)	- 32.2 (10.8)	- 44.5 (5.2)
金 属	9.1 (27.2)	4.7 (27.1)	- 4.5 (27.3)
飲食店・宿泊業	- 32.3 (7.3)	- 33.4 (8.4)	- 35.3 (10.3)

経営戦略は「営業力の強化」のみ比率が高まる

当面の経営戦略は、「営業力の強化」(今期：64.7%，前期：64.5%)が唯一上昇を示すなど景気の改善に伴い、営業力を強化しようとする企業の動きが目立った。



中小企業の定義（「中小企業基本法」に基づく）

業種	従業員規模・資本金規模
製造業その他	300人以下又は3億円以下
卸売業	100人以下又は1億円以下
小売業	50人以下又は5千万円以下
サービス業	100人以下又は5千万円以下

DI=Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略

「上昇」「増加」したなどとする企業割合から「下降」「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値。

2 調査方法等

- (1) 調査目的 京都市域中小企業の経営実態，経営動向を把握し，本市経済行政に反映させる。
- (2) 調査時点 平成16年6月
- (3) 調査対象期間 平成16年4月～6月期（3箇月実績）
平成16年7月～9月期（3箇月予測）
- (4) 調査方法 （財）京都市中小企業支援センターによるアンケート調査（郵送）
- (5) 回答企業数 対象企業数800企業 回答490企業（回答率61.3%）

業 種	企 業 数	業 種	企 業 数
製 造 業	239	卸 売 業	46
（西 陣）	（28）	小 売 業	72
（染 色）	（29）	情報通信業	20
（印 刷）	（28）	飲食店，宿泊業	36
（窯 業）	（25）	サービス業	47
（化 学）	（27）	建 設 業	30
（金 属）	（22）	不 明	0
（機 械）	（38）		
（その他）	（42）		
		合 計	490

*製造業の（ ）は内訳 「その他」には，工芸関連業種を含む。

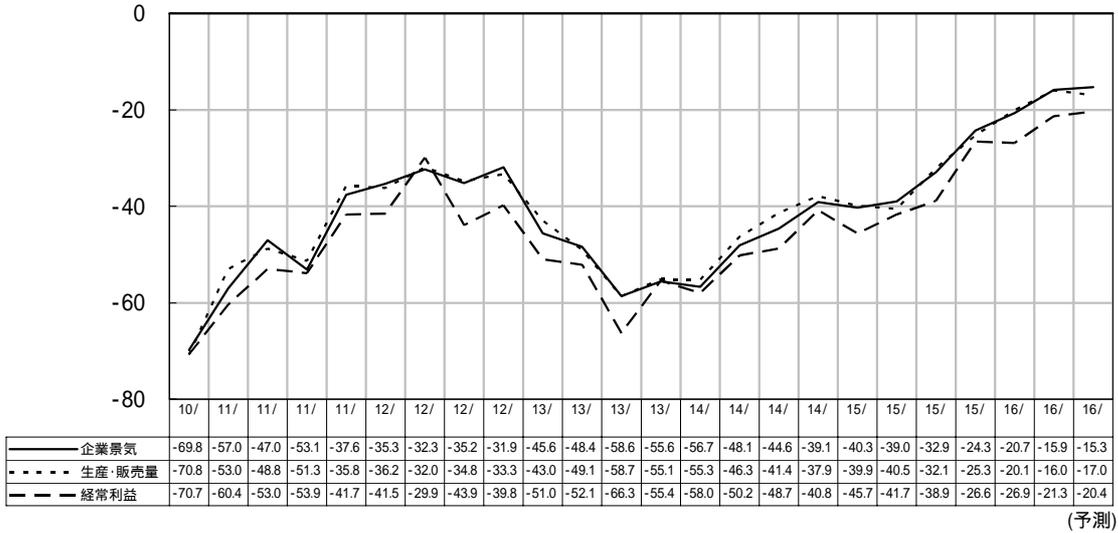
この広報資料の概要については，インターネットホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.jp/sankan/keiki/index.htm>

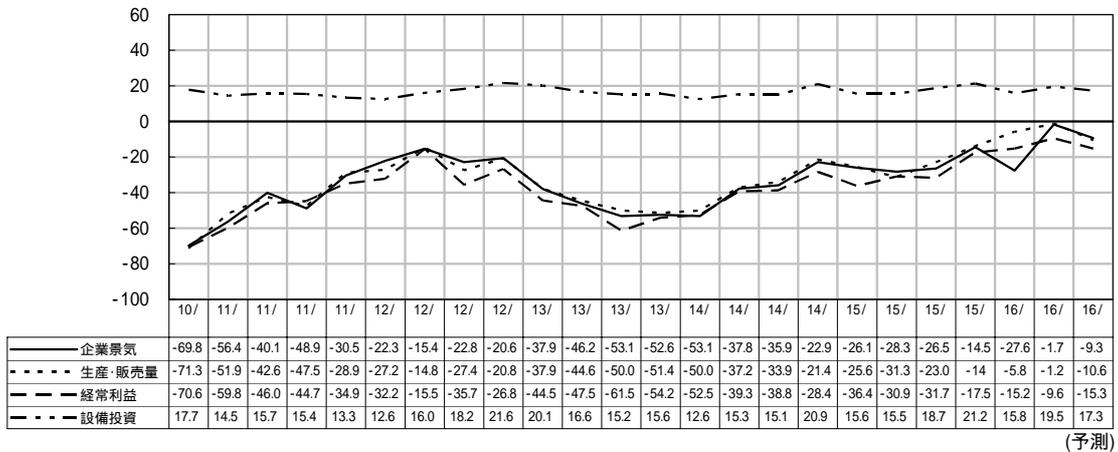
DI値の推移

1月～3月, 4月～6月
7月～9月, 10月～12月

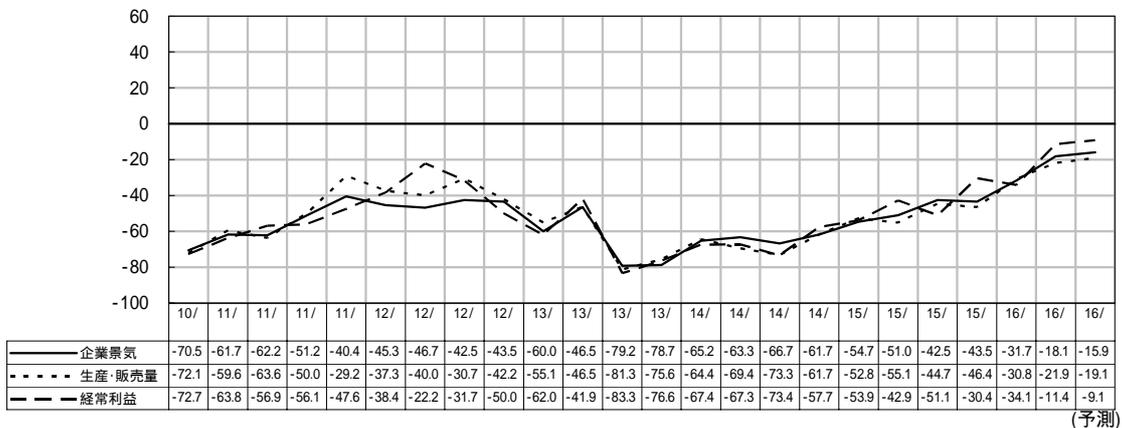
全業種



製造業

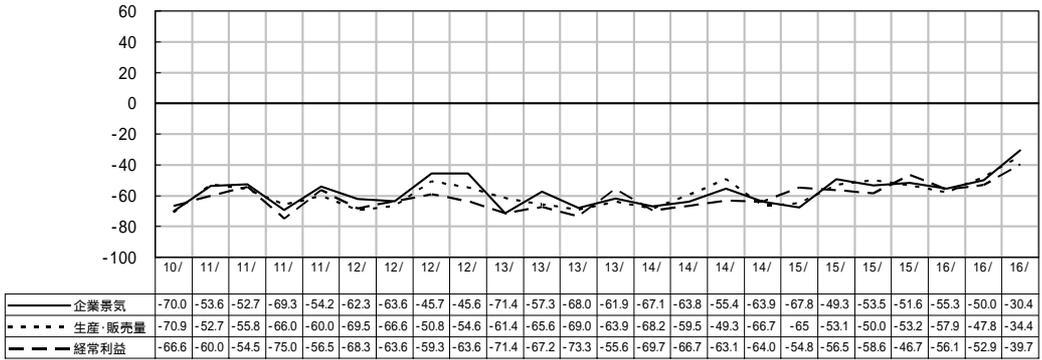


卸売業



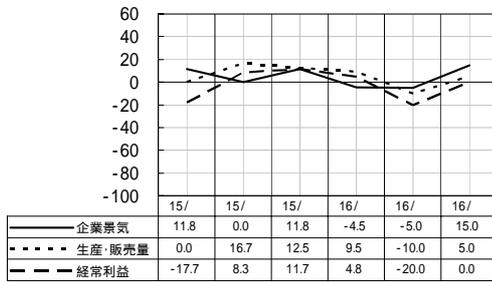
1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月

小売業



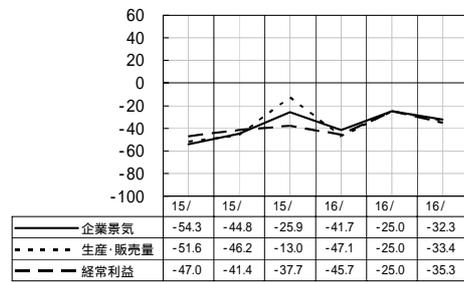
(予測)

情報通信業



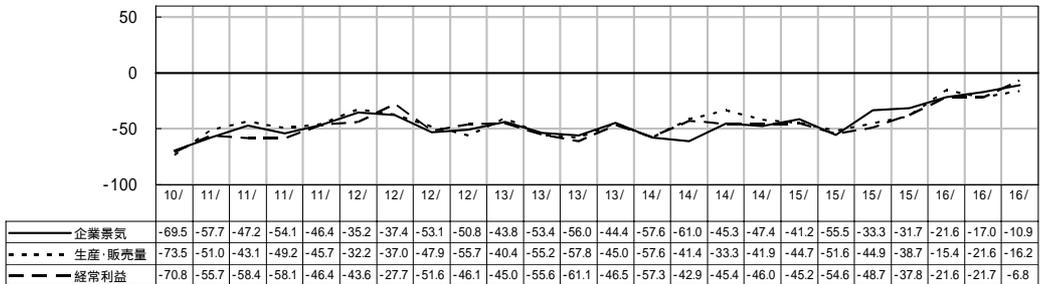
(予測)

飲食, 宿泊業



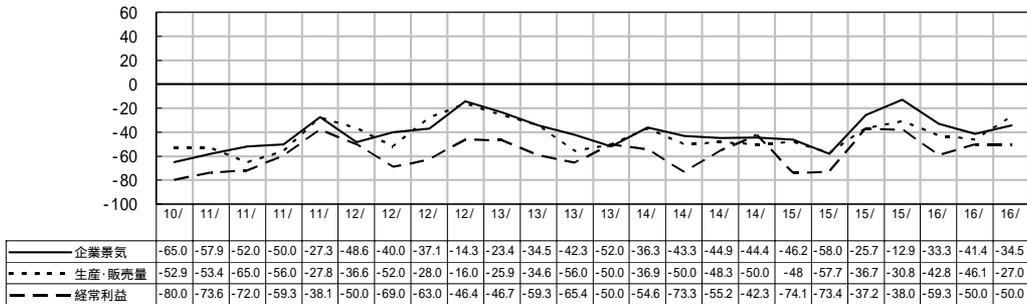
(予測)

サービス業



(予測)

建設業

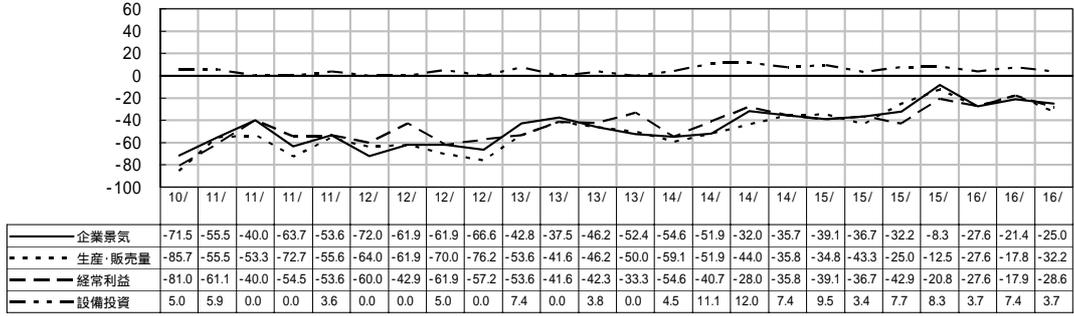


(予測)

製造業のDIの推移

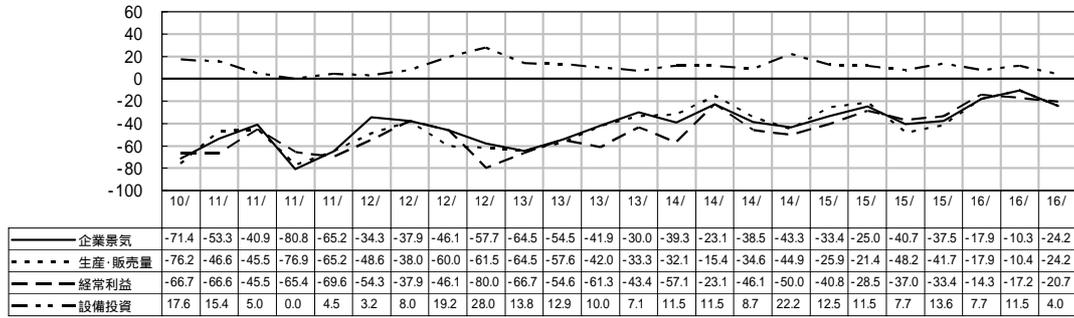
1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月

西陣



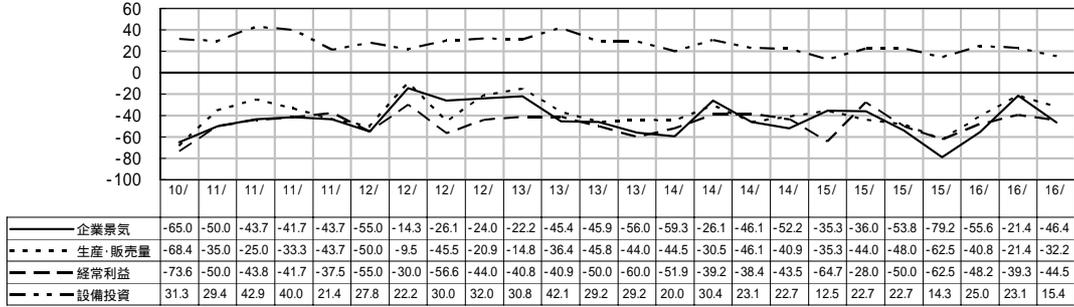
(予測)

染色



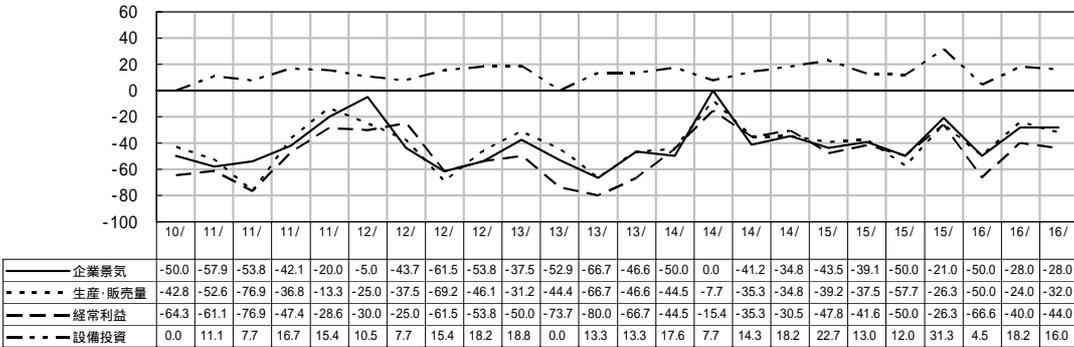
(予測)

印刷



(予測)

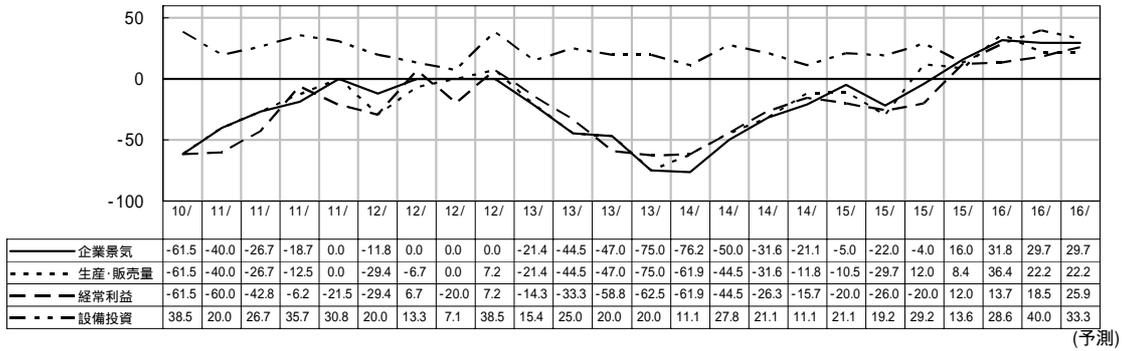
窯業



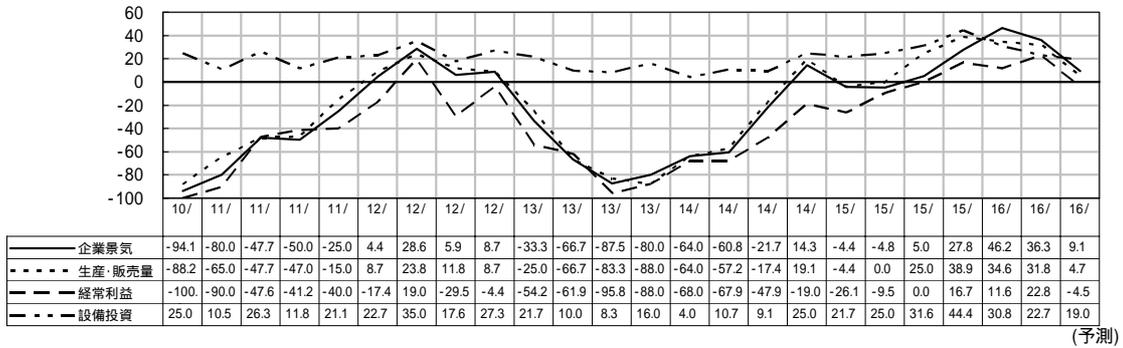
(予測)

1月~3月, 4月~6月
7月~9月, 10月~12月

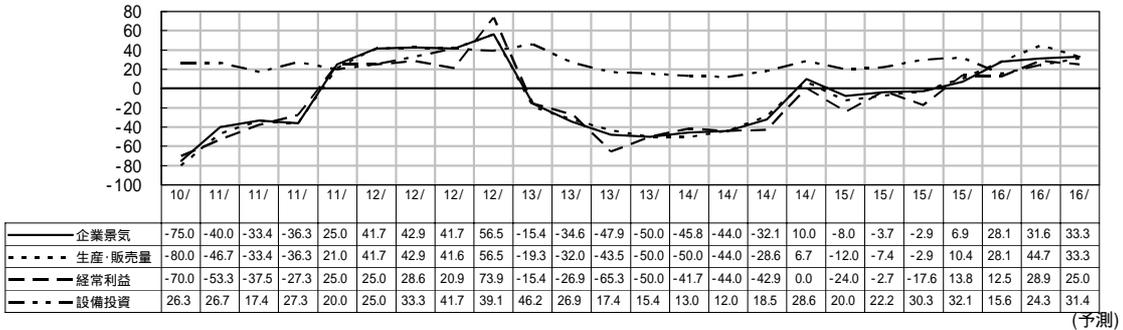
化学



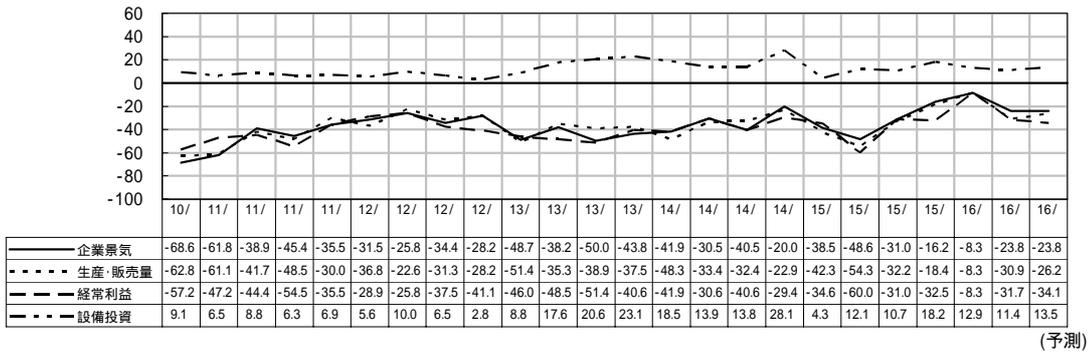
金属



機械

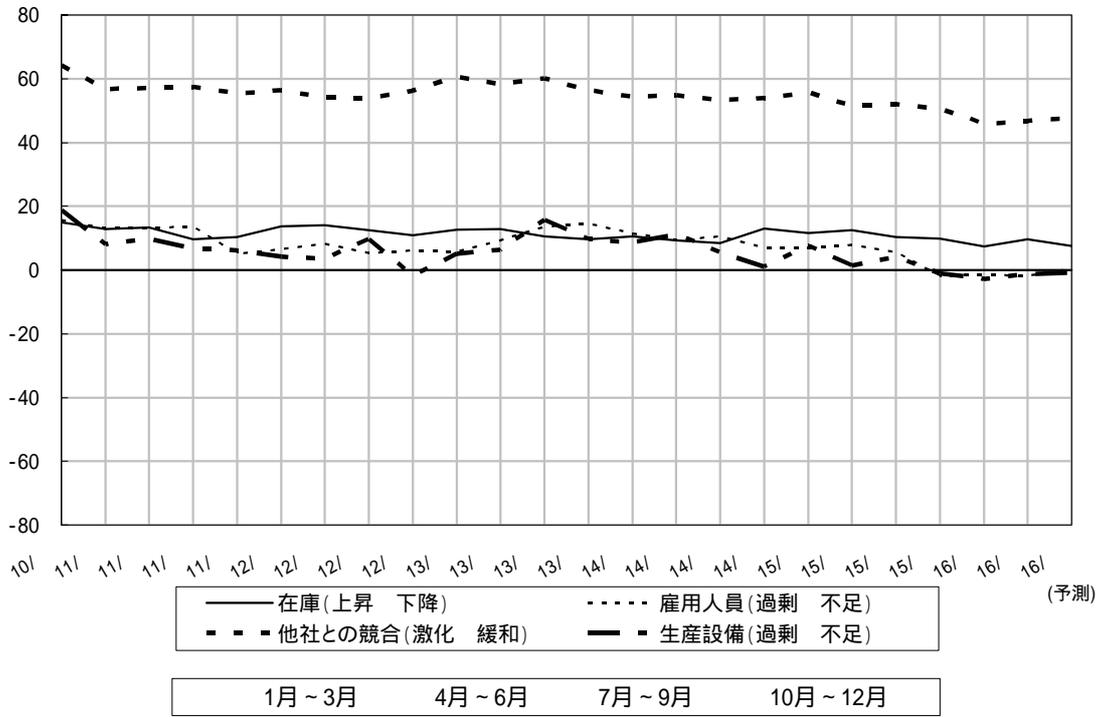


その他の製造業

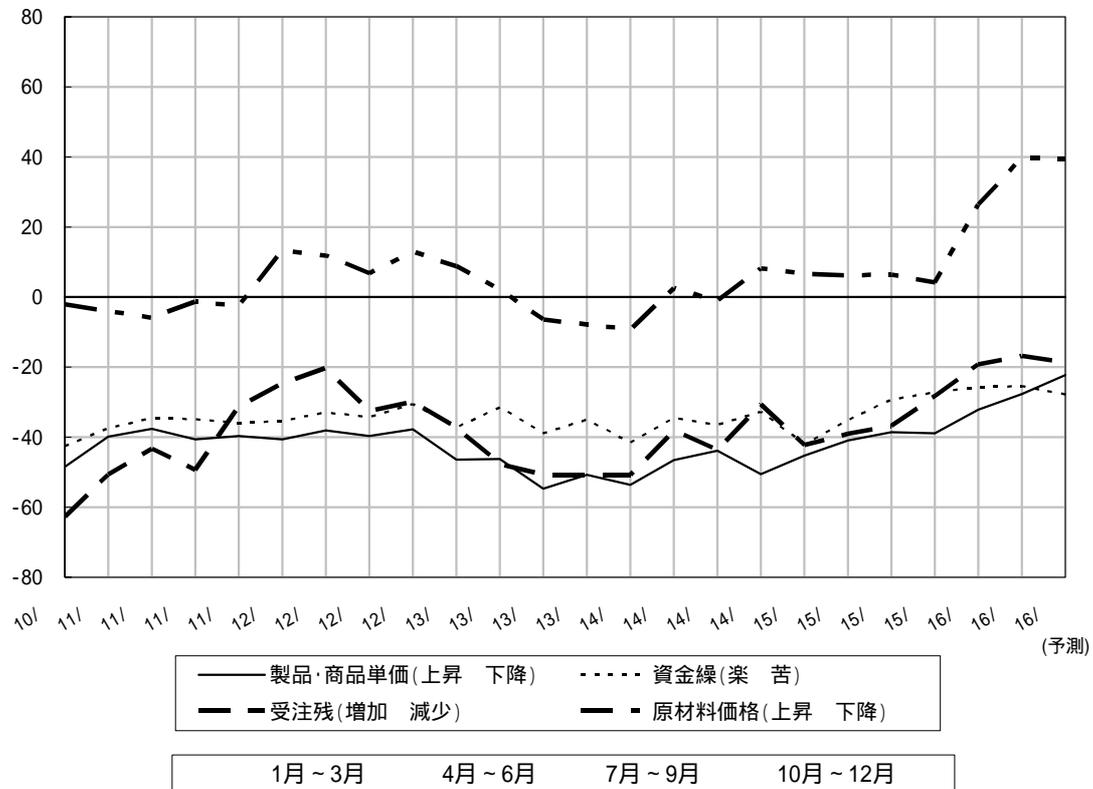


DI値の推移

全業種



全業種



3 調査結果

(1) 景気動向調査……………11	資金繰り……………23
企業景気……………11	他社との競争……………25
生産・販売量……………13	受注残（製造業のみ）……………27
経常利益……………15	原材料価格（製造業のみ）……………28
製品・商品単価……………17	生産設備（製造業のみ）……………29
在庫……………19	設備投資（製造業のみ）……………30
雇用人員……………21	(2) 当面の経営戦略……………31

<各種業ごとのD I 値の変動について>

「 」: 前期と今期又は今期と来期を比較し, D I 値が下降している場合

(1) 景気動向調査

【 企業景気】

実績値

今期(平成16年4月～6月期)の本市中小企業の企業景気は,業況判断D I 値がマイナス15.9となり,前期(平成16年1月～3月期)よりさらに4.8ポイント上昇した。企業景気D I は,第67回(平成15年4月～6月期)から5期連続して上昇を続けている。5期連続の上昇は第6回(昭和62年12月～63年3月期)以来16年ぶりである。

特に,製造業(今期: 1.7,前期: 6.7)ではD I が第18回(平成3年1月～3月期)調査以来のプラス水準まであと一歩というところまで回復している。その中で化学(29.7),金属(36.3),機械(31.6)は第69回(平成15年10月～12月期)以来,3期連続プラスを維持している。特に機械(今期:31.6,前期:28.1)は前期よりさらに3.5ポイント上昇し,一段と好況感が増している。液晶・半導体製造装置,化学機械,工作機械が内需,外需とも好調で,又,電子部品等のIT関連業種も活況を呈している。

他の製造業では印刷(今期: 21.4,前期: 55.6)が前期より34.2ポイントも回復し,窯業(今期: 28.0,前期: 50.0)は前期より22.0ポイント改善して回復傾向を強めている。印刷は販促用のチラシやパンフレット,カタログ等の需要が好調なほか,ダンボールも加工食品向け,電気器具向けに伸びている。

非製造業では,飲食店・宿泊業(今期: 25.0,前期: 41.7)が前期より16.7ポイント,卸売業(今期: 18.1,前期: 31.7)が13.6ポイント改善した。飲食店・宿泊業は観光客の増加がプラス面に作用した。

情報通信業(今期: 5.0,前期: 4.5)は景気回復を受け,企業のソフト開発に対する需要は増加したものの,企業格差が生じ,前期に比べ0.5ポイント下降した。

建設業(今期: 41.4,前期: 33.3)は公共工事の予算規模の縮小が響き,前期よりさらに8.1ポイント下降し,マイナス幅が拡大した。

観光関連は,京都を主題にしたドラマ放映効果とゴールデンウィークの曜日構成に恵まれ,各観光地への入り込み客も大幅に増加した。それに伴い土産物の販売額も前年を上回っているところが増加している。

予測値

来期（平成 16 年 7 月～9 月期）は D I がマイナス 15.3 と、今期（ 15.9）より 0.6 ポイント上昇すると予測している。業種別では製造業で厳しい予測になっており、特に印刷（今期： 21.4，来期： 46.4）と金属（今期：36.3，来期：9.1）がそれぞれ 25.0 ポイント， 27.2 ポイント下降すると予測している。しかし、機械（今期：31.6，来期：33.3）は 1.7 ポイントの上昇と、4 期連続の上昇を予測している。

非製造業では上昇を予測する企業が増加し、特に、小売業（今期： 50.0，来期： 30.4）と情報通信業（今期： 5.0，来期：15.0）がさらに回復する見通しを立てており、小売業は 19.6 ポイント，情報通信業が 20.0 ポイント上昇すると予測している。

観光関連（今期：5.4，来期： 16.2）は 21.6 ポイント下降し、厳しくなると予測している。

【企業景気】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.4-6月期予測	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降	
全業種	20.7 20.8 / 37.7 / 41.5	15.9 23.5 / 37.1 / 39.4	4.8	11.9 21.1 / 46.0 / 33.0	15.3 20.0 / 44.7 / 35.3	0.6
製造業	6.7 27.2 / 38.8 / 33.9	1.7 32.2 / 33.9 / 33.9	5.0	2.7 28.5 / 40.3 / 31.2	9.3 24.9 / 40.9 / 34.2	7.6
西陣	27.6 10.3 / 51.7 / 37.9	21.4 17.9 / 42.9 / 39.3	6.2	17.3 17.2 / 48.3 / 34.5	25.0 10.7 / 53.6 / 35.7	3.6
染色	17.9 21.4 / 39.3 / 39.3	10.3 20.7 / 48.3 / 31.0	7.6	25.0 14.3 / 46.4 / 39.3	24.2 10.3 / 55.2 / 34.5	13.9
印刷	55.6 0.0 / 44.4 / 55.6	21.4 28.6 / 21.4 / 50.0	34.2	18.5 22.2 / 37.0 / 40.7	46.4 10.7 / 32.1 / 57.1	25.0
窯業	50.0 4.2 / 41.7 / 54.2	28.0 24.0 / 24.0 / 52.0	22.0	26.1 17.4 / 39.1 / 43.5	28.0 16.0 / 40.0 / 44.0	0.0
化学	31.8 50.0 / 31.8 / 18.2	29.7 51.9 / 25.9 / 22.2	2.1	13.7 36.4 / 40.9 / 22.7	29.7 51.9 / 25.9 / 22.2	0.0
金属	46.2 57.7 / 30.8 / 11.5	36.3 54.5 / 27.3 / 18.2	9.9	32.0 44.0 / 44.0 / 12.0	9.1 36.4 / 36.4 / 27.3	27.2
機械	28.1 50.0 / 28.1 / 21.9	31.6 50.0 / 31.6 / 18.4	3.5	25.8 51.6 / 22.6 / 25.8	33.3 50.0 / 33.3 / 16.7	1.7
その他	8.3 25.0 / 41.7 / 33.3	23.8 16.7 / 42.9 / 40.5	15.5	5.6 25.0 / 44.4 / 30.6	23.8 14.3 / 47.6 / 38.1	0.0
非製造業	35.1 14.2 / 36.5 / 49.3	29.7 15.0 / 40.2 / 44.7	5.4	21.3 13.4 / 51.9 / 34.7	21.1 15.3 / 48.3 / 36.4	8.6
卸売業	31.7 19.5 / 29.3 / 51.2	18.1 20.5 / 40.9 / 38.6	13.6	25.0 15.0 / 45.0 / 40.0	15.9 18.2 / 47.7 / 34.1	2.2
小売業	55.3 5.4 / 33.9 / 60.7	50.0 8.6 / 32.9 / 58.6	5.3	40.0 5.5 / 49.1 / 45.5	30.4 8.7 / 52.2 / 39.1	19.6
情報通信業	4.5 27.3 / 40.9 / 31.8	5.0 30.0 / 35.0 / 35.0	0.5	14.3 33.3 / 47.6 / 19.0	15.0 45.0 / 25.0 / 30.0	20.0
飲食店、 宿泊業	41.7 19.4 / 19.4 / 61.1	25.0 19.4 / 36.1 / 44.4	16.7	20.0 11.4 / 57.1 / 31.4	32.3 11.8 / 44.1 / 44.1	7.3
サービス業	21.6 10.8 / 56.8 / 32.4	17.0 14.9 / 53.2 / 31.9	4.6	10.5 15.8 / 57.9 / 26.3	10.9 15.2 / 58.7 / 26.1	6.1
建設業	33.3 11.1 / 44.4 / 44.4	41.4 6.9 / 44.8 / 48.3	8.1	22.2 11.1 / 55.6 / 33.3	34.5 10.3 / 44.8 / 44.8	6.9
観光関連 企業	44.5 8.3 / 38.9 / 52.8	5.4 32.4 / 40.5 / 27.0	49.9	20.0 5.7 / 68.6 / 25.7	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	21.6

注) 数字は、小数点以下第 2 位で四捨五入のため、100%にならないことがある。

【 生産・販売量】

実績値

D Iはマイナス 16.0 と、前期（ 20.1）より 4.1 ポイント上昇した。

その中で、製造業（今期： 1.2，前期： 5.8）は前期より 4.6 ポイント改善した。化学（今期： 22.2，前期： 36.4），金属（今期： 31.8，前期： 34.6）は前期より下降したもののプラスを維持し、機械（今期： 44.7，前期： 28.1）前期より 16.6 ポイント上昇し、本格的な回復を示した。又、窯業（今期： 24.0，前期： 50.0），印刷（今期： 21.4，前期： 40.8）はそれぞれ 26.0 ポイント，19.4 ポイント改善した。

一方，その他の製造業（今期： 30.9，前期： 8.3）は 22.6 ポイント下降した。

非製造業では飲食店・宿泊業（今期： 25.0，前期： 47.1）が 22.1 ポイント改善した。しかし，情報通信業（今期： 10.0，前期： 9.5）は前期のプラスからマイナスに転じ，19.5 ポイント下降した。

観光関連（今期： 0.0，前期： 54.2）は，54.2 ポイント上昇して回復ぶりが鮮明となった。

予測値

D Iはマイナス 17.0 と、今期（ 16.0）より 1.0 ポイント下降すると予測している。特に，製造業（今期： 1.2，来期： 10.6）では 9.4 ポイント下降すると予測している。下降予測幅の最も大きい業種は金属（今期： 31.8，来期： 4.7）で，プラスを維持しているものの 27.1 ポイント下降すると予測している。今期，特に好調な機械（今期： 44.7，来期： 33.3）も原材料や原油の高騰，中国の投資抑制策や米国の利上げ観測等の不安要因もあり 11.4 ポイントの下降を予測している。

一方，非製造業は，飲食店・宿泊業を除き今期より上昇すると予測している。特に，建設業（今期： 46.1，来期： 27.0）は 19.1 ポイント上昇すると予測している。又，情報通信業（今期： 10.0，来期： 5.0）も今期は下降しマイナスに転じたが，来期は 15.0 ポイント上昇し，プラス（ 5.0）に転じて再び水面下を脱すると予測している。

観光関連（今期： 0.0，来期： 11.8）は今期，前年同期に発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）の影響で上昇したものの，来期はそのプラス要因も弱まり 11.8 ポイント下降すると予測している。

【生産・販売量】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.4-6月期予測	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少	
全業種	20.1 22.3 / 35.3 / 42.4	16.0 24.9 / 34.2 / 40.9	4.1	15.3 19.2 / 46.4 / 34.5	17.0 22.1 / 38.9 / 39.1	1.0
製造業	5.8 29.0 / 36.2 / 34.8	1.2 33.1 / 32.6 / 34.3	4.6	8.6 25.0 / 41.4 / 33.6	10.6 25.8 / 37.7 / 36.4	9.4
西陣	27.6 10.3 / 51.7 / 37.9	17.8 17.9 / 46.4 / 35.7	9.8	27.6 10.3 / 51.7 / 37.9	32.2 10.7 / 46.4 / 42.9	14.4
染色	17.9 21.4 / 39.3 / 39.3	10.4 24.1 / 41.4 / 34.5	7.5	25.0 14.3 / 46.4 / 39.3	24.2 10.3 / 55.2 / 34.5	13.8
印刷	40.8 11.1 / 37.0 / 51.9	21.4 28.6 / 21.4 / 50.0	19.4	25.9 18.5 / 37.0 / 44.4	32.2 21.4 / 25.0 / 53.6	10.8
窯業	50.0 4.2 / 41.7 / 54.2	24.0 24.0 / 28.0 / 48.0	26.0	43.5 8.7 / 39.1 / 52.2	32.0 16.0 / 36.0 / 48.0	8.0
化学	36.4 50.0 / 36.4 / 13.6	22.2 44.4 / 33.3 / 22.2	14.2	13.7 36.4 / 40.9 / 22.7	22.2 48.1 / 25.9 / 25.9	0.0
金属	34.6 53.8 / 26.9 / 19.2	31.8 54.5 / 22.7 / 22.7	2.8	20.0 40.0 / 40.0 / 20.0	4.7 33.3 / 38.1 / 28.6	27.1
機械	28.1 53.1 / 21.9 / 25.0	44.7 57.9 / 28.9 / 13.2	16.6	25.8 48.4 / 29.0 / 22.6	33.3 50.0 / 33.3 / 16.7	11.4
その他	8.3 27.8 / 36.1 / 36.1	30.9 16.7 / 35.7 / 47.6	22.6	8.5 22.9 / 45.7 / 31.4	26.2 16.7 / 40.5 / 42.9	4.7
非製造業	36.4 14.6 / 34.3 / 51.0	31.9 16.1 / 35.9 / 48.0	4.5	22.9 12.5 / 52.1 / 35.4	23.9 18.0 / 40.1 / 41.9	8.0
卸売業	30.8 17.9 / 33.3 / 48.7	21.9 22.0 / 34.1 / 43.9	8.9	21.1 10.5 / 57.9 / 31.6	19.1 19.0 / 42.9 / 38.1	2.8
小売業	57.9 3.5 / 35.1 / 61.4	47.8 13.4 / 25.4 / 61.2	10.1	36.4 9.1 / 45.5 / 45.5	34.4 13.4 / 38.8 / 47.8	13.4
情報通信業	9.5 33.3 / 42.9 / 23.8	10.0 25.0 / 40.0 / 35.0	19.5	15.7 36.8 / 42.1 / 21.1	5.0 40.0 / 25.0 / 35.0	15.0
飲食店、 宿泊業	47.1 14.7 / 23.5 / 61.8	25.0 18.8 / 37.5 / 43.8	22.1	18.2 12.1 / 57.6 / 30.3	33.4 13.3 / 40.0 / 46.7	8.4
サービス業	15.4 19.2 / 46.2 / 34.6	21.6 13.5 / 51.4 / 35.1	6.2	15.4 11.5 / 61.5 / 26.9	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	5.4
建設業	42.8 14.3 / 28.6 / 57.1	46.1 7.7 / 38.5 / 53.8	3.3	42.8 4.8 / 47.6 / 47.6	27.0 19.2 / 34.6 / 46.2	19.1
観光関連 企業	54.2 2.9 / 40.0 / 57.1	0.0 34.3 / 31.4 / 34.3	54.2	29.5 2.9 / 64.7 / 32.4	11.8 20.6 / 47.1 / 32.4	11.8

【 経常利益】

実績値

D Iはマイナス 21.3 と、前期(26.9)より 5.6 ポイント改善した。前期やや下降したものの、今期は再び上昇に転じた。景気回復を牽引している化学(今期：18.5, 前期：13.7), 金属(今期：22.8, 前期：11.6), 機械(今期：28.9, 前期：12.5)の3業種はそれぞれ 4.8 ポイント, 11.2 ポイント, 16.4 ポイント上昇し、特に機械の回復が著しい。又、製造業では窯業(今期： 40.0, 前期： 66.6)が 26.6 ポイントと大幅な改善を示した。しかし、その他の製造業(今期： 31.7, 前期： 8.3)は 23.4 ポイント下降し、厳しい判断をしている。

非製造業では、卸売業(今期： 11.4, 前期： 34.1)が 22.7 ポイント, 飲食店・宿泊業(今期： 25.0, 前期： 45.7)が 20.7 ポイントと 20 ポイント以上の改善を示した。しかし、情報通信業(今期： 20.0, 前期：4.8)は 24.8 ポイント下降し、企業間競争が厳しいことを物語っている。

観光関連(今期： 5.4, 前期： 60.0)は 54.6 ポイント上昇し、大幅な改善がみられた。

予測値

D Iはマイナス 20.4 と、今期(21.3)より 0.9 ポイント上昇すると予測している。特に非製造業で改善を予測する企業が多い。

製造業では化学(今期：18.5, 来期：25.9)が 7.4 ポイント改善すると予測している以外は後退すると予測している。特に金属(今期：22.8, 来期： 4.5)は 27.3 ポイントも下降すると予測し、金属材料の価格高騰を危惧している様子がうかがえる。

非製造業は、飲食店・宿泊業(今期： 25.0, 来期： 35.3), 建設業(今期： 50.0, 来期： 50.0)以外の業種は上昇を見込んでいる。特に情報通信業(今期： 20.0, 来期：0.0)は 20 ポイント上昇するとし、企業間格差が広がりそうな状況がうかがえる。

観光関連(今期： 5.4, 来期： 16.2)では、10.8 ポイント下降すると予測している。

【 経常利益】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	前回調査における 16.4-6月期予測	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少	
全業種	26.9 19.7 / 33.7 / 46.6	21.3 22.5 / 33.7 / 43.8	5.6	24.1 16.7 / 42.4 / 40.8	20.4 20.0 / 39.6 / 40.4	0.9
製造業	15.2 25.0 / 34.8 / 40.2	9.6 28.6 / 33.2 / 38.2	5.6	17.2 22.2 / 38.5 / 39.4	15.3 23.8 / 37.0 / 39.1	5.7
西 陣	27.6 17.2 / 37.9 / 44.8	17.9 21.4 / 39.3 / 39.3	9.7	17.3 24.1 / 34.5 / 41.4	28.6 14.3 / 42.9 / 42.9	10.7
染 色	14.3 21.4 / 42.9 / 35.7	17.2 20.7 / 41.4 / 37.9	2.9	35.7 10.7 / 42.9 / 46.4	20.7 10.3 / 58.6 / 31.0	3.5
印 刷	48.2 14.8 / 22.2 / 63.0	39.3 21.4 / 17.9 / 60.7	8.9	33.4 18.5 / 29.6 / 51.9	44.5 14.8 / 25.9 / 59.3	5.2
窯 業	66.6 4.2 / 25.0 / 70.8	40.0 24.0 / 12.0 / 64.0	26.6	52.2 8.7 / 30.4 / 60.9	44.0 16.0 / 24.0 / 60.0	4.0
化 学	13.7 36.4 / 40.9 / 22.7	18.5 40.7 / 37.0 / 22.2	4.8	0.0 27.3 / 45.5 / 27.3	25.9 48.1 / 29.6 / 22.2	7.4
金 属	11.6 38.5 / 34.6 / 26.9	22.8 45.5 / 31.8 / 22.7	11.2	11.5 15.4 / 57.7 / 26.9	4.5 27.3 / 40.9 / 31.8	27.3
機 械	12.5 37.5 / 37.5 / 25.0	28.9 50.0 / 28.9 / 21.1	16.4	19.4 45.2 / 29.0 / 25.8	25.0 47.2 / 30.6 / 22.2	3.9
その他	8.3 27.8 / 36.1 / 36.1	31.7 9.8 / 48.8 / 41.5	23.4	14.2 22.9 / 40.0 / 37.1	34.1 12.2 / 41.5 / 46.3	2.4
非製造業	39.0 14.2 / 32.6 / 53.2	32.5 16.7 / 34.1 / 49.2	6.5	31.1 11.2 / 46.5 / 42.3	25.4 16.3 / 42.1 / 41.7	7.1
卸売業	34.1 12.2 / 41.5 / 46.3	11.4 22.7 / 43.2 / 34.1	22.7	22.5 12.5 / 52.5 / 35.0	9.1 22.7 / 45.5 / 31.8	2.3
小売業	56.1 8.8 / 26.3 / 64.9	52.9 10.0 / 27.1 / 62.9	3.2	46.5 7.1 / 39.3 / 53.6	39.7 10.3 / 39.7 / 50.0	13.2
情報通信業	4.8 38.1 / 28.6 / 33.3	20.0 25.0 / 30.0 / 45.0	24.8	4.8 28.6 / 47.6 / 23.8	0.0 45.0 / 10.0 / 45.0	20.0
飲食店、 宿泊業	45.7 14.3 / 25.7 / 60.0	25.0 19.4 / 36.1 / 44.4	20.7	35.3 8.8 / 47.1 / 44.1	35.3 11.8 / 41.2 / 47.1	10.3
サービス業	21.6 13.5 / 51.4 / 35.1	21.7 19.6 / 39.1 / 41.3	0.1	16.2 13.5 / 56.8 / 29.7	6.8 15.9 / 61.4 / 22.7	14.9
建設業	59.3 11.1 / 18.5 / 70.4	50.0 10.0 / 30.0 / 60.0	9.3	55.6 3.7 / 37.0 / 59.3	50.0 6.7 / 36.7 / 56.7	0.0
観光関連 企業	60.0 2.9 / 34.3 / 62.9	5.4 27.0 / 40.5 / 32.4	54.6	44.2 2.9 / 50.0 / 47.1	16.2 16.2 / 51.4 / 32.4	10.8

【 製品・商品単価】

実績値

DIはマイナス27.6と、前期(32.1)より4.5ポイント上昇した。原材料の高騰から販売価格の上昇が考えられるが、若干上昇気味であるものの大幅な価格上昇はみられない。市場の状況から原材料価格をそのまま上乘せしにくい状況にあることをうかがわせる。その中で、卸売業(今期:11.9,前期:30.0)は18.1ポイント上昇し、仕入れ価格の上昇に若干影響を受けた傾向がでている。

観光関連(今期:17.7,前期:39.4)では、21.7ポイント上昇し、販売価格に改善傾向がみられる。

予測値

DIはマイナス22.2と、今期(27.6)より5.4ポイント上昇すると予測している。製造業では、化学(今期:11.1,来期:0.0)が11.1ポイント上昇を予測し、原材料価格上昇の上乗せを検討している企業の増加がうかがわれる。

非製造業では、小売業(今期:30.7,来期:17.5)が13.2ポイント、建設業(今期:55.6,来期:40.7)が14.9ポイント上昇するとしている。

観光関連(今期:17.7,来期:11.4)では、6.3ポイント上昇するとし、販売価格下落には歯止めがかかると予測している。

【製品・商品単価】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	
全業種	32.1 5.7 / 56.5 / 37.8	27.6 6.6 / 59.2 / 34.2	4.5	22.2 8.0 / 61.9 / 30.2	5.4
製造業	31.4 4.5 / 59.6 / 35.9	27.6 5.5 / 61.4 / 33.1	3.8	25.2 6.4 / 62.0 / 31.6	2.4
西陣	27.6 3.4 / 65.5 / 31.0	21.4 0.0 / 78.6 / 21.4	6.2	17.9 0.0 / 82.1 / 17.9	3.5
染色	21.4 14.3 / 50.0 / 35.7	20.7 6.9 / 65.5 / 27.6	0.7	25.9 0.0 / 74.1 / 25.9	5.2
印刷	59.3 0.0 / 40.7 / 59.3	57.1 0.0 / 42.9 / 57.1	2.2	57.1 0.0 / 42.9 / 57.1	0.0
窯業	41.7 0.0 / 58.3 / 41.7	36.0 4.0 / 56.0 / 40.0	5.7	32.0 4.0 / 60.0 / 36.0	4.0
化学	18.2 9.1 / 63.6 / 27.3	11.1 14.8 / 59.3 / 25.9	7.1	0.0 25.9 / 48.1 / 25.9	11.1
金属	38.5 3.8 / 53.8 / 42.3	36.4 9.1 / 45.5 / 45.5	2.1	45.5 4.5 / 45.5 / 50.0	9.1
機械	31.3 3.1 / 62.5 / 34.4	27.0 10.8 / 51.4 / 37.8	4.3	22.9 11.4 / 54.3 / 34.3	4.1
その他	17.1 2.9 / 77.1 / 20.0	17.5 0.0 / 82.5 / 17.5	0.4	11.9 4.8 / 78.6 / 16.7	5.6
非製造業	32.8 7.2 / 52.8 / 40.0	27.8 7.7 / 56.8 / 35.5	5.0	18.9 9.7 / 61.8 / 28.6	8.9
卸売業	30.0 12.5 / 45.0 / 42.5	11.9 14.3 / 59.5 / 26.2	18.1	7.1 11.9 / 69.0 / 19.0	4.8
小売業	38.9 7.4 / 46.3 / 46.3	30.7 10.8 / 47.7 / 41.5	8.2	17.5 12.7 / 57.1 / 30.2	13.2
情報通信業	9.5 14.3 / 61.9 / 23.8	10.5 0.0 / 89.5 / 10.5	1.0	5.2 5.3 / 84.2 / 10.5	5.3
飲食店、 宿泊業	21.8 6.3 / 65.6 / 28.1	12.1 12.1 / 63.6 / 24.2	9.7	9.4 12.5 / 65.6 / 21.9	2.7
サービス業	36.0 0.0 / 64.0 / 36.0	44.1 0.0 / 55.9 / 44.1	8.1	35.3 5.9 / 52.9 / 41.2	8.8
建設業	56.5 0.0 / 43.5 / 56.5	55.6 0.0 / 44.4 / 55.6	0.9	40.7 3.7 / 51.9 / 44.4	14.9
観光関連 企業	39.4 0.0 / 60.6 / 39.4	17.7 8.8 / 64.7 / 26.5	21.7	11.4 8.6 / 71.4 / 20.0	6.3

【 在庫】

実績値

DIは9.7と、前期(7.3)より2.4ポイント上昇した。一部の業種で過剰感が薄れたが、全体としてはまだ過剰感緩和の方向には進んでいない。製造業の西陣(今期:37.0,前期:37.9),窯業(今期:32.0,前期:16.6)等では依然過剰感が強い。特に窯業では前期より15.4ポイント上昇し、過剰感が強まった。しかし、機械(今期:2.6,前期:9.3)は11.9ポイント下降し、やや不足感が強まった。

非製造業では、卸売業(今期:17.7,前期:2.4),建設業(今期:13.6,前期:5.8)でそれぞれ15.3ポイント,19.4ポイント上昇し、過剰感が強まった。

観光関連(今期:9.1,前期:6.5)では、2.6ポイント上昇し、過剰感がやや強まった。

予測値

DIは7.5と、今期(9.7)より2.2ポイント下降すると予測している。総体的に過剰感の緩和を予測する業種が増加している。その中で西陣(今期:37.0,来期:37.0),窯業(今期:32.0,来期:25.0)は緩和傾向にありながらも過剰感を継続して予測している。

観光関連(今期:9.1,来期:9.1)では、やや過剰感が残ったまま今期と同様に推移すると予測している。

【在庫】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
全業種	7.3 14.3 / 78.6 / 7.0	9.7 16.4 / 76.9 / 6.7	2.4	7.5 14.3 / 78.9 / 6.8	2.2
製造業	10.5 18.2 / 74.1 / 7.7	12.4 18.0 / 76.4 / 5.6	1.9	10.4 16.5 / 77.4 / 6.1	2.0
西陣	37.9 44.8 / 48.3 / 6.9	37.0 37.0 / 63.0 / 0.0	0.9	37.0 37.0 / 63.0 / 0.0	0.0
染色	0.0 12.0 / 76.0 / 12.0	7.7 15.4 / 76.9 / 7.7	7.7	3.8 11.5 / 80.8 / 7.7	3.9
印刷	7.4 7.4 / 92.6 / 0.0	7.4 7.4 / 92.6 / 0.0	0.0	0.0 3.7 / 92.6 / 3.7	7.4
窯業	16.6 33.3 / 50.0 / 16.7	32.0 40.0 / 52.0 / 8.0	15.4	25.0 33.3 / 58.3 / 8.3	7.0
化学	4.5 13.6 / 77.3 / 9.1	11.1 11.1 / 88.9 / 0.0	6.6	11.1 11.1 / 88.9 / 0.0	0.0
金属	8.0 8.0 / 76.0 / 16.0	14.3 0.0 / 85.7 / 14.3	6.3	14.2 4.8 / 76.2 / 19.0	0.1
機械	9.3 15.6 / 78.1 / 6.3	2.6 13.2 / 71.1 / 15.8	11.9	2.8 11.1 / 75.0 / 13.9	0.2
その他	11.1 11.1 / 88.9 / 0.0	19.0 19.0 / 81.0 / 0.0	7.9	19.0 19.0 / 81.0 / 0.0	0.0
非製造業	3.4 9.6 / 84.3 / 6.2	6.5 14.5 / 77.5 / 8.0	3.1	4.0 11.7 / 80.6 / 7.7	2.5
卸売業	2.4 12.2 / 78.0 / 9.8	17.7 24.4 / 68.9 / 6.7	15.3	9.3 16.3 / 76.7 / 7.0	8.4
小売業	9.1 12.7 / 83.6 / 3.6	10.8 20.0 / 70.8 / 9.2	1.7	12.3 16.9 / 78.5 / 4.6	1.5
情報通信業	0.0 5.9 / 88.2 / 5.9	6.7 0.0 / 93.3 / 6.7	6.7	6.7 0.0 / 93.3 / 6.7	0.0
飲食店, 宿泊業	6.9 6.9 / 93.1 / 0.0	0.0 7.4 / 85.2 / 7.4	6.9	3.9 3.8 / 88.5 / 7.7	3.9
サービス業	5.3 0.0 / 94.7 / 5.3	15.4 0.0 / 84.6 / 15.4	10.1	11.6 3.8 / 80.8 / 15.4	3.8
建設業	5.8 11.8 / 70.6 / 17.6	13.6 13.6 / 86.4 / 0.0	19.4	4.8 14.3 / 76.2 / 9.5	8.8
観光関連 企業	6.5 9.7 / 87.1 / 3.2	9.1 15.2 / 78.8 / 6.1	2.6	9.1 12.1 / 84.8 / 3.0	0.0

【 雇用人員】

実績値

D Iはマイナス 1.7 と、前期（ 1.6）より 0.1 ポイント下降した。不足感の強まった業種が見受けられる。製造業では、特に金属（今期： 31.9，前期： 19.3），機械（今期： 16.6，前期： 0.0）でそれぞれ 12.6 ポイント，16.6 ポイント下降し，不足感を一段と強めている。

非製造業では，飲食店・宿泊業（今期： 11.1，前期： 0.0）が 11.1 ポイント下降し，不足感を強め，建設業（今期： 0.0，前期： 17.9）も 17.9 ポイント下降し，過剰感が薄れた。一方，情報通信業（今期： 20.0，前期： 36.4）は 16.4 ポイント上昇し，不足状態から適正とする企業が増加した。

観光関連（今期： 5.4，前期： 5.6）では，11.0 ポイント下降し，景気回復とともに過剰気味から不足気味になり雇用状態が改善した。

予測値

D Iはマイナス 0.3 と、今期（ 1.7）より 2.0 ポイント上昇すると予測している。今期より過剰気味になると予測する業種が多い。しかしその中で，情報通信業（今期： 20.0，来期： 30.0）は 10 ポイント下降し，不足傾向が強まると予測している。

観光関連（今期： 5.4，来期： 0.0）は 5.4 ポイント上昇し，適正な雇用状態になると予測している。

〔雇用人員〕

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
全業種	1.6 10.6 / 77.2 / 12.2	1.7 9.5 / 79.3 / 11.2	0.1	0.3 11.7 / 76.9 / 11.4	2.0
製造業	3.2 10.3 / 76.2 / 13.5	1.7 11.4 / 75.4 / 13.1	1.5	2.2 15.4 / 71.4 / 13.2	3.9
西陣	17.3 20.7 / 75.9 / 3.4	18.5 22.2 / 74.1 / 3.7	1.2	18.5 22.2 / 74.1 / 3.7	0.0
染色	14.3 21.4 / 71.4 / 7.1	3.4 17.2 / 69.0 / 13.8	10.9	10.3 24.1 / 62.1 / 13.8	6.9
印刷	11.1 0.0 / 88.9 / 11.1	10.7 14.3 / 82.1 / 3.6	21.8	17.8 21.4 / 75.0 / 3.6	7.1
窯業	4.2 8.3 / 79.2 / 12.5	0.0 8.0 / 84.0 / 8.0	4.2	0.0 8.3 / 83.3 / 8.3	0.0
化学	9.1 0.0 / 90.9 / 9.1	0.0 11.1 / 77.8 / 11.1	9.1	0.0 14.8 / 70.4 / 14.8	0.0
金属	19.3 3.8 / 73.1 / 23.1	31.9 4.5 / 59.1 / 36.4	12.6	22.8 4.5 / 68.2 / 27.3	9.1
機械	0.0 19.4 / 61.3 / 19.4	16.6 5.6 / 72.2 / 22.2	16.6	20.0 5.7 / 68.6 / 25.7	3.4
その他	13.8 5.6 / 75.0 / 19.4	0.0 9.5 / 81.0 / 9.5	13.8	9.5 19.0 / 71.4 / 9.5	9.5
非製造業	0.0 10.9 / 78.2 / 10.9	1.6 7.7 / 82.9 / 9.3	1.6	1.7 8.0 / 82.4 / 9.7	0.1
卸売業	4.9 7.3 / 90.2 / 2.4	8.9 13.3 / 82.2 / 4.4	4.0	11.7 14.0 / 83.7 / 2.3	2.8
小売業	3.5 8.9 / 85.7 / 5.4	0.0 2.9 / 94.3 / 2.9	3.5	3.0 1.5 / 94.0 / 4.5	3.0
情報通信業	36.4 4.5 / 54.5 / 40.9	20.0 5.0 / 70.0 / 25.0	16.4	30.0 5.0 / 60.0 / 35.0	10.0
飲食店, 宿泊業	0.0 8.6 / 82.9 / 8.6	11.1 8.3 / 72.2 / 19.4	11.1	5.9 8.8 / 76.5 / 14.7	5.2
サービス業	2.7 10.5 / 76.3 / 13.2	0.0 8.9 / 82.2 / 8.9	2.7	0.0 9.1 / 81.8 / 9.1	0.0
建設業	17.9 28.6 / 60.7 / 10.7	0.0 10.0 / 80.0 / 10.0	17.9	3.3 13.3 / 76.7 / 10.0	3.3
観光関連 企業	5.6 13.9 / 77.8 / 8.3	5.4 10.8 / 73.0 / 16.2	11.0	0.0 16.2 / 67.6 / 16.2	5.4

【 資金繰り】

実績値

D Iはマイナス 25.4 と、前期（ 25.7）とほぼ同水準となった。製造業では改善している企業が比較的多くみられるが、「苦しい」とする基調は変わらず、業況は回復しつつあるとはいいながら、厳しい状況は続いている。又、前期プラスだった化学（今期： 7.4，前期：4.5）は11.9ポイント下降し、今期は「苦」とする企業が増加した。

非製造業では、多くの業種が下降し、逼迫感のある業種が増加している。

観光関連（今期： 32.4，前期： 41.6）では、9.2ポイント上昇し、逼迫感はやや緩和した。

予測値

D Iはマイナス 27.8 と、今期（ 25.4）より2.4ポイント下降すると予測している。ほとんどの業種が苦しくなると予測しており、改善する兆しはみられない。

観光関連（今期： 32.4，来期： 32.4）は、横ばい傾向が続くとみている。

【資金繰り】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	楽 / 普通 / 苦	楽 / 普通 / 苦		楽 / 普通 / 苦	
全業種	25.7 7.2 / 59.9 / 32.9	25.4 7.2 / 60.2 / 32.6	0.3	27.8 6.9 / 58.4 / 34.7	2.4
製造業	22.8 9.0 / 59.2 / 31.8	19.3 9.6 / 61.5 / 28.9	3.5	22.2 9.4 / 59.0 / 31.6	2.9
西陣	10.4 17.2 / 55.2 / 27.6	14.2 17.9 / 50.0 / 32.1	3.8	14.8 14.8 / 55.6 / 29.6	0.6
染色	33.3 7.4 / 51.9 / 40.7	17.3 10.3 / 62.1 / 27.6	16.0	17.3 10.3 / 62.1 / 27.6	0.0
印刷	37.0 0.0 / 63.0 / 37.0	17.8 3.6 / 75.0 / 21.4	19.2	29.6 3.7 / 63.0 / 33.3	11.8
窯業	54.2 0.0 / 45.8 / 54.2	44.0 4.0 / 48.0 / 48.0	10.2	50.0 0.0 / 50.0 / 50.0	6.0
化学	4.5 13.6 / 77.3 / 9.1	7.4 14.8 / 63.0 / 22.2	11.9	3.7 14.8 / 66.7 / 18.5	3.7
金属	19.2 15.4 / 50.0 / 34.6	13.6 9.1 / 68.2 / 22.7	5.6	22.7 9.1 / 59.1 / 31.8	9.1
機械	15.6 12.5 / 59.4 / 28.1	10.5 13.2 / 63.2 / 23.7	5.1	13.9 16.7 / 52.8 / 30.6	3.4
その他	19.4 5.6 / 69.4 / 25.0	28.5 4.8 / 61.9 / 33.3	9.1	28.5 4.8 / 61.9 / 33.3	0.0
非製造業	28.5 5.4 / 60.6 / 33.9	31.3 4.9 / 58.9 / 36.2	2.8	33.1 4.5 / 57.9 / 37.6	1.8
卸売業	4.9 12.2 / 70.7 / 17.1	15.9 11.4 / 61.4 / 27.3	11.0	22.7 11.4 / 54.5 / 34.1	6.8
小売業	33.3 5.3 / 56.1 / 38.6	41.5 1.4 / 55.7 / 42.9	8.2	36.2 0.0 / 63.8 / 36.2	5.3
情報通信業	13.7 13.6 / 59.1 / 27.3	25.0 10.0 / 55.0 / 35.0	11.3	30.0 10.0 / 50.0 / 40.0	5.0
飲食店、 宿泊業	42.8 2.9 / 51.4 / 45.7	33.3 5.6 / 55.6 / 38.9	9.5	38.3 8.8 / 44.1 / 47.1	5.0
サービス業	28.9 0.0 / 71.1 / 28.9	30.4 0.0 / 69.6 / 30.4	1.5	31.1 0.0 / 68.9 / 31.1	0.7
建設業	46.4 0.0 / 53.6 / 46.4	33.3 6.7 / 53.3 / 40.0	13.1	40.0 3.3 / 53.3 / 43.3	6.7
観光関連 企業	41.6 5.6 / 47.2 / 47.2	32.4 5.4 / 56.8 / 37.8	9.2	32.4 8.1 / 51.4 / 40.5	0.0

【 他社との競争】

実績値

D Iは46.7と、前期(45.9)より0.8ポイント上昇した。製造業では上昇した業種が多く、非製造業は下降した業種が多かった。製造業では、激化の傾向がさらに強まり、染色(今期:48.3, 前期:33.3)、印刷(今期:82.1, 前期:66.7)はそれぞれ15.0ポイント、15.4ポイント上昇した。その中で、その他の製造業(今期:30.9, 前期:52.8)は21.9ポイント下降し、競争がやや緩和した。

非製造業は、やや緩和した業種が多かったが、中でも情報通信業(今期:25.0, 前期:40.9)は15.9ポイント下降し、緩和傾向が進んだ。

観光関連(今期:40.5, 前期:27.7)は、12.8ポイント上昇し、景気回復傾向にありながら、競争は激化した。

予測値

D Iは47.9と、今期(46.7)より1.2ポイント上昇すると予測している。全体的に激化が進む傾向であるが、各業種とも大きな変化はないと予測している。その中で、その他の製造業(今期:30.9, 来期:43.9)は13.0ポイント上昇すると予測し、さらに競争が激しくなるとみている。

観光関連(今期D I:40.5, 来期D I:43.2)では、2.7ポイント上昇すると予測し、厳しい競争が続くとみている。

【他社との競争】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	激化 / 不変 / 緩和	激化 / 不変 / 緩和		激化 / 不変 / 緩和	
全業種	45.9 48.4 / 49.1 / 2.5	46.7 48.5 / 49.7 / 1.8	0.8	47.9 49.8 / 48.3 / 1.9	1.2
製造業	43.2 45.9 / 51.4 / 2.7	43.1 44.4 / 54.4 / 1.3	0.1	46.3 47.2 / 51.9 / 0.9	3.2
西陣	42.9 53.6 / 35.7 / 10.7	46.4 46.4 / 53.6 / 0.0	3.5	42.9 42.9 / 57.1 / 0.0	3.5
染色	33.3 33.3 / 66.7 / 0.0	48.3 48.3 / 51.7 / 0.0	15.0	48.3 48.3 / 51.7 / 0.0	0.0
印刷	66.7 70.4 / 25.9 / 3.7	82.1 82.1 / 17.9 / 0.0	15.4	85.2 85.2 / 14.8 / 0.0	3.1
窯業	25.0 29.2 / 66.7 / 4.2	28.0 28.0 / 72.0 / 0.0	3.0	36.0 36.0 / 64.0 / 0.0	8.0
化学	40.9 40.9 / 59.1 / 0.0	33.3 37.0 / 59.3 / 3.7	7.6	33.3 37.0 / 59.3 / 3.7	0.0
金属	34.7 38.5 / 57.7 / 3.8	31.8 31.8 / 68.2 / 0.0	2.9	40.9 40.9 / 59.1 / 0.0	9.1
機械	43.8 43.8 / 56.3 / 0.0	44.7 44.7 / 55.3 / 0.0	0.9	41.7 41.7 / 58.3 / 0.0	3.0
その他	52.8 52.8 / 47.2 / 0.0	30.9 35.7 / 59.5 / 4.8	21.9	43.9 46.3 / 51.2 / 2.4	13.0
非製造業	48.6 50.9 / 46.8 / 2.3	50.0 52.4 / 45.2 / 2.4	1.4	49.3 52.3 / 44.7 / 3.0	0.7
卸売業	51.3 53.7 / 43.9 / 2.4	44.5 48.9 / 46.7 / 4.4	6.8	41.8 46.5 / 48.8 / 4.7	2.7
小売業	50.0 53.6 / 42.9 / 3.6	57.1 60.0 / 37.1 / 2.9	7.1	59.1 62.1 / 34.8 / 3.0	2.0
情報通信業	40.9 40.9 / 59.1 / 0.0	25.0 30.0 / 65.0 / 5.0	15.9	25.0 30.0 / 65.0 / 5.0	0.0
飲食店, 宿泊業	34.2 37.1 / 60.0 / 2.9	33.3 36.1 / 61.1 / 2.8	0.9	32.4 35.3 / 61.8 / 2.9	0.9
サービス業	57.9 57.9 / 42.1 / 0.0	66.0 66.0 / 34.0 / 0.0	8.1	60.5 62.8 / 34.9 / 2.3	5.5
建設業	53.5 57.1 / 39.3 / 3.6	53.3 53.3 / 46.7 / 0.0	0.2	58.6 58.6 / 41.4 / 0.0	5.3
観光関連 企業	27.7 33.3 / 61.1 / 5.6	40.5 43.2 / 54.1 / 2.7	12.8	43.2 45.9 / 51.4 / 2.7	2.7

【 受注残】

実績値

DIはマイナス16.8と、前期（19.2）より2.4ポイント上昇した。著しく上昇したのは機械（今期：28.9，前期：6.3）で、22.6ポイント上昇した。機械は活況を呈しており、受注残も大きく増加した。一方、その他の製造業（今期：36.1，前期：13.8）は22.3ポイント下降し、厳しい受注状況になった。

観光関連（今期：14.3，前期：54.5）は40.2ポイント上昇し、受注状況は著しく改善した。

予測値

DIはマイナス18.7と、今期（16.8）より1.9ポイント下降すると予測している。景気回復のけん引役となっている金属（今期：4.5，来期：9.5）、機械（今期：28.9，来期：16.7）がそれぞれ14.0ポイント、12.2ポイント下降すると予測しており、受注状況はやや厳しくなると予測している。

観光関連（今期：14.3，来期：35.7）は21.4ポイント下降すると予測しており、受注判断は悪化するとしている。

【 受注残】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	増加 / 不変 / 減少	増加 / 不変 / 減少		増加 / 不変 / 減少	
製造業	19.2 17.8 / 45.2 / 37.0	16.8 19.6 / 44.0 / 36.4	2.4	18.7 16.9 / 47.5 / 35.6	1.9
西陣	51.9 3.7 / 40.7 / 55.6	53.9 3.8 / 38.5 / 57.7	2.0	48.0 4.0 / 44.0 / 52.0	5.9
染色	24.0 20.0 / 36.0 / 44.0	25.9 18.5 / 37.0 / 44.4	1.9	34.6 7.7 / 50.0 / 42.3	8.7
印刷	32.0 12.0 / 44.0 / 44.0	28.0 8.0 / 56.0 / 36.0	4.0	24.0 8.0 / 60.0 / 32.0	4.0
窯業	45.9 8.3 / 37.5 / 54.2	40.0 12.0 / 36.0 / 52.0	5.9	40.0 8.0 / 44.0 / 48.0	0.0
化学	10.0 15.0 / 60.0 / 25.0	3.9 23.1 / 57.7 / 19.2	13.9	7.7 23.1 / 61.5 / 15.4	3.8
金属	11.5 34.6 / 42.3 / 23.1	4.5 31.8 / 40.9 / 27.3	7.0	9.5 23.8 / 42.9 / 33.3	14.0
機械	6.3 31.3 / 43.8 / 25.0	28.9 50.0 / 28.9 / 21.1	22.6	16.7 41.7 / 33.3 / 25.0	12.2
その他	13.8 13.8 / 58.6 / 27.6	36.1 2.8 / 58.3 / 38.9	22.3	28.6 11.4 / 48.6 / 40.0	7.5
観光関連 企業	54.5 0.0 / 45.5 / 54.5	14.3 21.4 / 42.9 / 35.7	40.2	35.7 0.0 / 64.3 / 35.7	21.4

【 原材料価格】

実績値

D Iは39.7と、前期(26.4)より13.3ポイント上昇した。西陣(今期:3.7,前期:14.8)を除くすべての業種で上昇しており、特に好況な化学(今期:57.7,前期:33.3),金属(今期:77.3,前期:53.8),機械(今期:76.3,前期:56.3)がそれぞれ24.4ポイント,23.5ポイント,20.0ポイント上昇している。鉄鋼,アルミ,銅合金,石油等が軒並み高騰し,その影響をまともに受けた。

観光関連(今期:11.7,前期:18.2)は6.5ポイント下降し,原材料高騰の影響はあまり受けていない。

予測値

D Iは39.5と、今期(39.7)より0.2ポイント下降すると予測しており,大きな変動なく推移すると予測している。ただ,機械(今期:76.3,来期:63.8)は12.5ポイント下降すると予測しており,現在以上の大幅な上昇はないとみている。

観光関連(今期:11.7,来期:18.8)は7.1ポイント上昇すると予測しており,原材料の価格高騰が今後,影響してくるとみている。

【 原材料価格】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	上昇 / 不変 / 下降	上昇 / 不変 / 下降		上昇 / 不変 / 下降	
製造業	26.4 28.8 / 68.9 / 2.4	39.7 42.8 / 54.1 / 3.1	13.3	39.5 42.2 / 55.2 / 2.7	0.2
西 陣	14.8 14.8 / 85.2 / 0.0	3.7 7.4 / 88.9 / 3.7	11.1	7.4 11.1 / 85.2 / 3.7	3.7
染 色	3.8 3.8 / 96.2 / 0.0	11.1 18.5 / 74.1 / 7.4	7.3	15.4 19.2 / 76.9 / 3.8	4.3
印 刷	12.0 16.0 / 80.0 / 4.0	27.0 30.8 / 65.4 / 3.8	15.0	34.7 38.5 / 57.7 / 3.8	7.7
窯 業	0.0 4.2 / 91.7 / 4.2	16.0 20.0 / 76.0 / 4.0	16.0	20.0 24.0 / 72.0 / 4.0	4.0
化 学	33.3 33.3 / 66.7 / 0.0	57.7 57.7 / 42.3 / 0.0	24.4	61.5 61.5 / 38.5 / 0.0	3.8
金 属	53.8 53.8 / 46.2 / 0.0	77.3 77.3 / 22.7 / 0.0	23.5	72.7 72.7 / 27.3 / 0.0	4.6
機 械	56.3 56.3 / 43.8 / 0.0	76.3 78.9 / 18.4 / 2.6	20.0	63.8 69.4 / 25.0 / 5.6	12.5
その他	29.0 38.7 / 51.6 / 9.7	39.5 42.1 / 55.3 / 2.6	10.5	37.1 37.1 / 62.9 / 0.0	2.4
観光関連 企業	18.2 18.2 / 81.8 / 0.0	11.7 23.5 / 64.7 / 11.8	6.5	18.8 31.3 / 56.3 / 12.5	7.1

【 生産設備】

実績値

DIはマイナス1.3と、前期（2.8）より1.5ポイント上昇した。各業種とも前期とほぼ同様と判断している。過剰気味なのは西陣（今期：22.2，前期：22.2），染色（今期：18.5，前期：19.3）で、不足気味なのは金属（今期：18.2，前期：15.4），機械（今期：18.4，前期：15.6）である。

観光関連（今期：17.6，前期：9.1）は、8.5ポイント増加した。不足としている企業がなくなり、適正とする企業が増加した。

予測値

DIは、マイナス0.9と、今期（1.3）より0.4ポイント上昇すると予測している。各業種とも特に大きな変化はないと予測している。

観光関連（今期：17.6，来期：12.5）は、今期より5.1ポイント下降すると予測している。

【 生産設備】

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
	過剰 / 適正 / 不足	過剰 / 適正 / 不足		過剰 / 適正 / 不足	
製造業	2.8 10.5 / 76.2 / 13.3	1.3 12.8 / 73.1 / 14.1	1.5	0.9 14.3 / 70.4 / 15.2	0.4
西 陣	22.2 29.6 / 63.0 / 7.4	22.2 25.9 / 70.4 / 3.7	0.0	25.9 25.9 / 74.1 / 0.0	3.7
染 色	19.3 30.8 / 57.7 / 11.5	18.5 25.9 / 66.7 / 7.4	0.8	23.1 30.8 / 61.5 / 7.7	4.6
印 刷	8.0 8.0 / 76.0 / 16.0	0.0 12.5 / 75.0 / 12.5	8.0	0.0 12.0 / 76.0 / 12.0	0.0
窯 業	4.4 4.3 / 87.0 / 8.7	4.0 16.0 / 72.0 / 12.0	8.4	4.0 16.0 / 72.0 / 12.0	0.0
化 学	9.5 4.8 / 81.0 / 14.3	7.7 7.7 / 76.9 / 15.4	1.8	11.5 7.7 / 73.1 / 19.2	3.8
金 属	15.4 3.8 / 76.9 / 19.2	18.2 9.1 / 63.6 / 27.3	2.8	13.7 13.6 / 59.1 / 27.3	4.5
機 械	15.6 0.0 / 84.4 / 15.6	18.4 5.3 / 71.1 / 23.7	2.8	25.0 5.6 / 63.9 / 30.6	6.6
その他	10.0 3.3 / 83.3 / 13.3	5.2 5.3 / 84.2 / 10.5	4.8	2.8 8.3 / 80.6 / 11.1	2.4
観光関連 企業	9.1 18.2 / 72.7 / 9.1	17.6 17.6 / 82.4 / 0.0	8.5	12.5 18.8 / 75.0 / 6.3	5.1

【 設備投資】

実績値

「した」企業は19.5%に達し、前期（15.8%）より3.7%上昇した。特に、化学は40.0%と高い水準にあり、前期（28.6%）より11.4%上昇し、顕著な改善傾向を示した。

また、機械（今期：24.3%、前期：15.6%）は8.7%上昇し、印刷（今期：23.1%、前期：25.0%）、金属（今期：22.7%、前期：30.8%）はそれぞれ1.9%、8.1%下降したものの、3業種とも20%を上回り、投資マインドは回復してきている。

観光関連（今期：18.8%、前期：10.0%）は8.8%上昇し、設備投資に動きがでてきた。

予測値

「する」とする企業は17.3%で、今期より2.2%下降すると予測している。ほとんどの業種が比率を落とす予測をしているが、機械（今期：24.3%、来期：31.4%）は7.1%上昇すると予測しており、旺盛な投資意欲がうかがえる。

観光関連（今期：18.8%、来期：0.0%）は18.8%下降すると予測しており、投資予定の企業はゼロであり、来期の投資には慎重姿勢を保っている。

〔 設備投資〕

	16.1-3月期実績 (B)	16.4-6月期実績 (A)	A - B	16.7-9月期予測 (C)	C - A
製造業	15.8	19.5	3.7	17.3	2.2
西 陣	3.7	7.4	3.7	3.7	3.7
染 色	7.7	11.5	3.8	4.0	7.5
印 刷	25.0	23.1	1.9	15.4	7.7
窯 業	4.5	18.2	13.7	16.0	2.2
化 学	28.6	40.0	11.4	33.3	6.7
金 属	30.8	22.7	8.1	19.0	3.7
機 械	15.6	24.3	8.7	31.4	7.1
その他	12.9	11.4	1.5	13.5	2.1
観光関連 企業	10.0	18.8	8.8	0.0	18.8

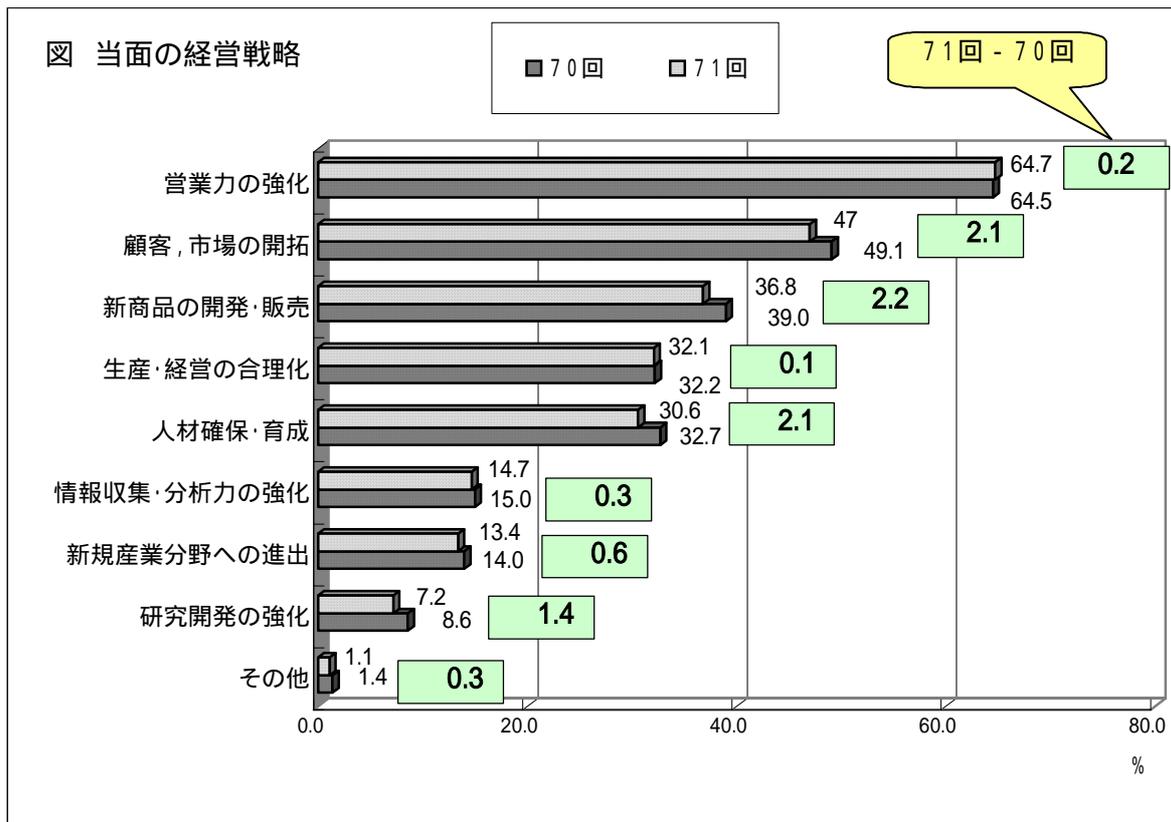
実績値及び予測値は「した」及び「する」と回答した企業の割合（%）

(2) 当面の経営戦略

当面の経営戦略は、比率が大きく変化した戦略はなかった。各戦略の上位の順位は変わらず、1位の「営業力の強化」(今期：64.7%、前期：64.5%)が0.2ポイント上昇し、2位の「顧客、市場の開拓」(今期：47.0%、前期：49.1%)が2.1ポイント、3位の「新商品の開発・販売」(今期：36.8%、前期：39.0%)が2.2ポイント下降した。前回5位の「生産・経営の合理化」(今期：32.1%、前期：32.2%)が0.1ポイント下降したものの4位になり、前回4位の「人材確保・育成」(今期：30.6%、前期：32.7%)が2.1ポイント下降して5位になった。(図)

業種別にみると、「営業力の強化」の比率が最も高い業種は染色(57.1%)、印刷(74.1%)、窯業(52.0%：但し、「新商品の開発・販売」と同率)、化学(57.7%)、金属(59.1%：但し、「人材確保・育成」と同率)、機械(59.5%)、その他の製造業(67.5%)、卸売業(71.1%)、小売業(70.3%)、飲食店・宿泊業(63.6%)、サービス業(71.7%)、建設業(93.3%)で、「顧客、市場の開拓」の比率が最も高い業種は情報通信業(75.0%)、「新商品の開発・販売」の比率が最も高い業種は西陣(70.4%)、窯業(前出)、「人材確保・育成」の比率が最も高い業種は金属(前出)である。(表A)

規模別にみると、すべての規模で「営業力の強化」の比率が最も高い。(表B)



表A 当面の経営戦略（業種別）

	全体	製造業										計	卸売業	小売業	情報通信業	飲食店、宿泊業	サービス業	建設業
		西陣	染色	印刷	窯業	化学	金属	機械	その他									
営業力の強化	304 64.7%	9 33.3%	16 57.1%	20 74.1%	13 52.0%	15 57.7%	13 59.1%	22 59.5%	27 67.5%	135 58.2%	32 71.1%	45 70.3%	10 50.0%	21 63.6%	33 71.7%	28 93.3%		
生産・経営の合理化	151 32.1%	7 25.9%	7 25.0%	13 48.1%	9 36.0%	11 42.3%	12 54.5%	16 43.2%	17 42.5%	92 39.7%	8 17.8%	12 18.8%	3 15.0%	9 27.3%	11 23.9%	16 53.3%		
人材確保・育成	144 30.6%	6 22.2%	11 39.3%	6 22.2%	4 16.0%	4 15.4%	13 59.1%	16 43.2%	8 20.0%	68 29.3%	17 37.8%	12 18.8%	10 50.0%	11 33.3%	18 39.1%	8 26.7%		
新規産業分野への進出	63 13.4%	6 22.2%	6 21.4%	5 18.5%	3 12.0%	8 30.8%	2 9.1%	6 16.2%	2 5.0%	38 16.4%	8 17.8%	4 6.3%	1 5.0%	0 0.0%	8 17.4%	4 13.3%		
顧客、市場の開拓	221 47.0%	12 44.4%	13 46.4%	15 55.6%	9 36.0%	7 26.9%	10 45.5%	14 37.8%	18 45.0%	98 42.2%	20 44.4%	34 53.1%	15 75.0%	17 51.5%	21 45.7%	16 53.3%		
新商品の開発・販売	173 36.8%	19 70.4%	10 35.7%	5 18.5%	13 52.0%	13 50.0%	6 27.3%	14 37.8%	23 57.5%	103 44.4%	21 46.7%	20 31.3%	6 30.0%	11 33.3%	9 19.6%	3 10.0%		
研究開発の強化	34 7.2%	2 7.4%	4 14.3%	3 11.1%	1 4.0%	5 19.2%	6 27.3%	4 10.8%	3 7.5%	28 12.1%	4 8.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	1 2.2%	0 0.0%		
情報収集・分析力の強化	69 14.7%	4 14.8%	7 25.0%	4 14.8%	1 4.0%	0 0.0%	6 27.3%	4 10.8%	6 15.0%	32 13.8%	9 20.0%	9 14.1%	1 5.0%	5 15.2%	7 15.2%	6 20.0%		
その他	5 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.5%	2 0.9%	1 2.2%	1 1.6%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%		
(回答企業数)	470	27	28	27	25	26	22	37	40	232	45	64	20	33	46	30		
無回答	20	1	1	1	0	1	0	1	2	7	1	8	0	3	1	0		

表B 当面の経営戦略（規模別）

	全体	0-4人	5-9人	10-19人	20-29人	30-49人	50-99人	100人以上	観光
		人	人	人	人	人	人	人	
営業力の強化	304 64.7%	58 65.9%	70 60.3%	66 66.7%	39 66.1%	25 55.6%	28 66.7%	18 85.7%	21 63.6%
生産・経営の合理化	151 32.1%	12 13.6%	32 27.6%	36 36.4%	22 37.3%	23 51.1%	20 47.6%	6 28.6%	10 30.3%
人材確保・育成	144 30.6%	11 12.5%	31 26.7%	35 35.4%	19 32.2%	24 53.3%	14 33.3%	10 47.6%	10 30.3%
新規産業分野への進出	63 13.4%	10 11.4%	15 12.9%	16 16.2%	6 10.2%	3 6.7%	8 19.0%	5 23.8%	1 3.0%
顧客、市場の開拓	221 47.0%	43 48.9%	59 50.9%	39 39.4%	29 49.2%	22 48.9%	19 45.2%	10 47.6%	18 54.5%
新商品の開発・販売	173 36.8%	33 37.5%	49 42.2%	34 34.3%	16 27.1%	15 33.3%	19 45.2%	7 33.3%	16 48.5%
研究開発の強化	34 7.2%	4 4.5%	5 4.3%	9 9.1%	3 5.1%	4 8.9%	5 11.9%	4 19.0%	0 0.0%
情報収集・分析力の強化	69 14.7%	13 14.8%	19 16.4%	12 12.1%	8 13.6%	5 11.1%	6 14.3%	6 28.6%	7 21.2%
その他	5 1.1%	1 1.1%	1 0.9%	2 2.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%
(回答企業数)	470	88	116	99	59	45	42	21	33
無回答	20	8	4	5	1	1	0	1	4

参考:各分野による調査票回収状況

設立年次別回答企業数(%)

項目	企業数(構成比)
明治以前	12(2.4)
明治	23(4.7)
大正	15(3.1)
昭和19年以前	37(7.6)
20~39年	177(36.1)
40~49年	96(19.6)
昭和50年以降	75(15.3)
平成	55(11.2)
合計	490(100.0)

組織形態別回答企業数(%)

項目	企業数(構成比)
法人	464(94.7)
個人	26(5.3)
合計	490(100.0)

業種別回答企業数(%)

項目	企業数(構成比)	項目	企業数(構成比)
製造業	239(48.8)	卸売業	46(9.4)
西陣	28(5.7)	小売業	72(14.7)
染色	29(5.9)	情報通信業	20(4.1)
印刷	28(5.7)	飲食,宿泊業	36(7.3)
窯業	25(5.1)	サービス	47(9.6)
化学	27(5.5)	建設業	30(6.1)
金属	22(4.5)	不明	0(0.0)
機械	38(7.8)	合計	490(100%)
その他	42(8.6)		

資本金規模別企業数

項目	企業数(構成比)	項目	企業数(構成比)
~100万円	0(0.0)	3001~5000	43(8.8)
101~200	2(0.4)	5001~1億円	23(4.7)
201~500	56(11.4)	1億円超	6(1.2)
501~1000	218(44.5)	合計	464(100%)
1001~3000	116(23.7)		

* 法人のみ

従業員規模別企業数

項目	企業数(構成比)	項目	企業数(構成比)
0~4人	96(19.6)	30~49人	46(9.4)
5~9人	120(24.5)	50~99人	42(8.6)
10~19人	104(21.2)	100人以上	22(4.5)
20~29人	60(12.2)	合計	490(100%)